

伯耆国「大山開山1300年祭」事業
大山ワンダーフォーラム

日本の鉄文化・ たたら

歴史フォーラム

2018年10月21日[日]9:30~16:00

米子市公会堂 (米子市角盤町2-61) 入場無料(要事前申込)

©鳥取県

午前の部 「全国たたらサミット」(9:30~12:15)

取組事例発表 | 「たたら製鉄」の盛んな地域の6団体

提言(たたらトーク) | 角田徳幸氏 (鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター調査第二課長)
石村隆男氏 (公益財団法人とっとりコンベンションビューロー理事長)
テーマ: 「たたらで日本の歴史をひもとく」

同時開催



午後の部 「大山山麓の歴史・刀剣シンポジウム」(13:15~16:00)

基調講演 | 井沢元彦氏 (作家)
「たたら・はがね・日本刀 その文化と歴史」

対談 | 高橋英樹氏 (俳優) × 井沢元彦氏
「伯耆国 日本刀はここから始まった!」

モデレーター: 及川史朗氏 (一般社団法人全日本刀匠会事業部プロデューサー)



関連イベント・展示等も開催!

神楽上演 (日南神楽神光社)、居合道演武 (米子真武館)、「大山賛歌」合唱(ゴスペルオーブ)、ミニたたら操業(砂鉄投入体験)
「あなたの記念刀」(パーパーナイフ)づくり体験、都合山たたら遺跡AR体験、伯耆国「大山開山1300年祭」記念刀展示 等

- 参加には事前申し込みが必要となります。詳細については裏面をご確認ください。
- 来場にあたっては、無料シャトルバスもご利用いただけます。(米子港臨時駐車場⇒米子駅前⇒米子市公会堂)

主催: 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

〒683-0054 米子市糀町1丁目160
鳥取県西部総合事務所地域振興局内
TEL(0859)31-9363 FAX(0859)31-9368



<http://www.daisen1300.org/> 大山 1300

検索



伯耆国「大山開山 1300年祭」

企画協力: (株) KADOKAWA / 一般社団法人全日本刀匠会事業部 / 伯耆国たたら顕彰会

日本の鉄文化・たたら の歴史フォーラム

2018年10月21日[日]
米子市公会堂
683-0812 米子市角盤町2-61

【大山山麓の歴史・刀剣シンポジウム】ゲストプロフィール

●高橋英樹氏(俳優)

1944年生まれ。千葉県木更津市出身。高校在学中の1961年、日活ニューフェイス5期生として日活入社。「高原児」でデビュー。以後「激流に生きる男」「男の紋章」シリーズ、「けんかえれじい」「戦争と人間」「伊豆の踊り子」等映画黄金期に多数出演活躍する。その他、テレビ番組、テレビドラマ、バラエティ番組、舞台、CM等に多数出演のほか、「高橋英樹のおもしろ日本史」(KKベストセラーズ)などの著書もあり。現在、月刊「江戸染」(エー・アール・ティ(株))で「高橋英樹の歴史つづれ帖」を連載中。

●井沢元彦氏(作家)

1954年名古屋生まれ。早稲田大学法学部卒業後、TBSに入社。報道局在職中の80年に、「猿丸幻視行」で第26回江戸川乱歩賞を受賞。退社後、執筆活動に専念。独自の歴史観からテーマに斬り込む作品で多くのファンをつかむ。著書は、単行本・文庫版・ビジュアル版で500万部超のベスト&ロングセラーとなっている「逆説の日本史」シリーズ(小学館)をはじめ、「英傑の日本史」シリーズ、「天皇の日本史」(ともにKADOKAWA)など多数。

【全国たたらサミット】取組事例発表団体紹介

■鉄の道文化圏推進協議会(鳥根県)

歴史ある有数のたたら生産地で、奥出雲町の日刀保たたらでは伝統的の技術が今日に伝えられ、雲南市吉田町の菅谷たたら山内や、田部家など3大鉄山師の住居も往時のまま残されている。こうした遺産に加え、安来市の和鋼博物館など多数の文化施設を抱え、安来市、雲南市、奥出雲町で官民一体となった取り組みが進められている。

■宍粟鉄を保存する会(兵庫県)

金屋子の神が最初に降臨し、日本で初めて製鉄が行われた地とも言われる。木炭の火で砂鉄を溶かす古来製鉄技術の記録が風土記にも記され、今も階段状に石垣が連なる天見屋鉄山跡を残す。保存する会では、十数年前から中学生を対象にミニたたらを実施し、活動を受け継ぐ若手も育てている。

■備中国新見庄たたら伝承会(岡山県)

「中世たたら」製鉄を通じてまちおこしを行っている団体。国宝「東寺百舌文書」の中に、年貢として鉄を納めていたという記録がある新見庄。その歴史をもとに平成2年にボイスカウト新見第1回により開催された「たまがきハイク」を契機に、平成5年に新見市で初めて「中世たたら」復元操業が行われた。それ以降たたらに関する各種団体が各々活動を行っていたが、平成22年に市民有志を募り当会を立ち上げた。毎年10月に新見市で行っている「中世たたら」復元操業は、一般参加者の協力を得て吹き出し籠(ふいご)を一昼夜駆動させられている。当会では「日刀保たたら」の木原村下の協力を得て、当事業を全面的にバックアップしている。

■奥安芸の鉄物語たたら楽校実行委員会(広島県)

中世、毛利が活躍した頃の製鉄遺跡や古文書が調査され、安芸国の先進的状況が解明されてきた。近世、最大手に成長した加計隠居は、山陰からの砂鉄の搬入、川舟を使った搬出など、広域的な経営がされ、「紙本著色隔屋鉄山絵巻」を残す。実行委員会では「紙芝居」を使った「体験プログラム」に取り組んでいる。

■いわてたたら研究会(岩手県)

いわてたたら研究会は、たたら製鉄に関する情報交流及び勉強会を行い、「たたらによる良質な鉄づくり」と「たたらで作った鉄を活用した良質な製品づくり」に取り組んでいる。岩手県には多くの地域で製鉄の歴史があり、南部鉄器という伝統産業もある。当研究会は、これら地域産業の振興と地域固有の歴史文化の継承及び発展に資することを目的としている。

■伯耆国たたら顕彰会(鳥取県)

奥日野における活動は、「たたら」をテーマとして地域振興を図るべく、平成20年に日野町・日南町両商工会が経産省の事業に取り組んだことに始まる。平成21年、ガイダンス施設として「たたら楽校」根雨楽舎と大宮楽舎をオープン。製鉄遺跡の調査、また、講演会やフォーラムの開催、観光バスツアーを企画するなど民間を主としてソフト事業に取り組んでいる。

【提言(たたらトーク)】出演者紹介

●角田徳幸氏

(鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター調査第二課長)

1962年広島県生まれ。1985年鳥根大学文学専攻科修了。2013年に「たたら吹製鉄の成立と展開」で博士(文学)学位取得。鳥根県埋蔵文化財調査センター、鳥根県教育庁文化財課、鳥根県立古代出雲歴史博物館などを経て、2018年から現職。著書に「たたら吹製鉄の成立と展開」(清文堂出版2014年)など

●石村隆男氏

(公益財団法人とっとりコンベンションビューロー理事長)

1957年米子市生まれ。明治大学卒業後、JTB、日動火災海上保険で勤務。その後、大山ファンクラブ「大山王国」プロジェクトを開始し約20年、現在に至る。その間「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」事務局長として、企画運営に携わる。2015年から現職。総務省地域力創造アドバイザー。

申込方法 電子メールまたは電話にて、①住所・②氏名・③電話番号について、以下申込先までお申し込みください。

申込受付開始日 平成30年9月18日(火)

申込先 「日本の鉄文化・たたら歴史フォーラム」受付窓口(受付時間 平日・土・日・祝 8:00~17:00)
682-0801 倉吉市蔵城997-3 流通株式会社内
TEL 0858-22-1211/電子メール contact@ryu-tsu.jp

申込締切 平成30年10月19日(金)

- ・応募締め切りまでに定員に達した場合は受付を終了します。
- ・定員に余裕がある場合は、当日、会場でも受付予定です。
- ・お申込みの際にいただいた個人情報は、本目的以外に使用することはありません。

事前申し込みされた方には「整理券」をお送りしますので、当日会場にご持参ください。

＜無料シャトルバスのご案内＞

米子港臨時駐車場→JR米子駅→米子市公会堂→米子港臨時駐車場を結び無料シャトルバスを運行します。どうぞご利用ください。8:30~16:45(約15分間隔で運行) 運転手休憩のため、一時運休する時間帯がありますのでご承知ください。

同時開催

大山ワンダーフォーラム<伯耆国「大山開山1300年祭」クライマックスイベント> ※各イベントの詳細は、公式HPでお知らせします。

10/20(土)「大山を詠む!」俳句コンテスト

米子コンベンションセンター 小ホール

今、人気の俳句と絶景写真を通じ、風光明媚な大山を目と心で楽しむイベント!

10/20(土)「星」のフェスタin米子

米子市児童文化センター

観客動員数100万人突破のプラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」を上映。幻想的で美しい映像と音楽が感動的な空間を繰り広げる。KAGAYA氏による山陰初のトークショー、星空ウォッチングなども開催。

10/20(土)・21(日) 大山ブランドフェスティバル

米子コンベンションセンター 国際会議室

料理コンテスト、料理教室、高校生の食のプロジェクトなどを通じて、大山の恵みの水と食の魅力を紹介します。

10/21(日) 大山ワンダーとっとりスタイル

エコツーリズム講演会 米子コンベンションセンター 小ホール

日本文学研究を専門とされるロバート キャンベル氏を迎え、大山の魅力について再発見するとともに、大山のこれからについて考えます。